

水草研究会会報投稿規定

1. 投稿は本会会員に限る。但し、本会が依頼した場合はこの限りではない。
 2. 原稿内容は、水草*に関する調査、研究報告、解説（総説）、短報、諸資料、諸情報、エッセイ、他とする。なお原稿の内容に疑義のある場合は、書き直しを求めることがある。
 3. 原稿作成にあたっては、以下の諸点に留意する。
 - A. 原稿は横書き原稿用紙に楷書するか、ワープロ（和文タイプ）を用いる。
 - B. 原著に相当する報文には著者名及びタイトルの英語を併記すること。また、著者が必要と認めた場合は、英文摘要（Abstract）をつけることができる。
 - C. 図は活字の貼り込みをのぞき、そのまま製版できるように仕上げる。図（写真含む）の右上または裏面に、図の番号と著者名を書き、説明は別紙に一括する。表は別紙に書く。表の説明は各表の上側につけ、必要に応じ、下に注をつける。
 - D. 文献の引用は、文献番号ではなく、著者名と年号を明記する。
（例）『三木（1937）は、…』『…である（三木、1937）』。また、文末の引用文献は、最近号の例にならって、著者の姓名のアルファベット順に配列する。
 4. 掲載の順序と体裁、並びに校正は編集担当者に一任のこと。なお、特に希望する点があれば申し出る。
 5. 別刷を必要とする場合は、投稿時に必要部数を申し込むこと（50部以上、50部単位）。実費は著者負担とする。
 6. 送稿や編集に関する通信は、〒657 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学教養部生物学教室 角野康郎宛とする。
- *ここで言う水草は狭義の水草に限定せず、広く湿地や水辺の植物なども含むものとする。

〔編集後記〕

会報の体裁を変更して1年。原稿がきちんと集まるだろうか？ 内容が片寄りはないか？ などなどいくつかの心配をかかえての出発でしたが、会員の皆様方の御理解と御協力で、当会のような弱体な会としては質、量ともに精一杯のことをやっていると自負しています。まだまだ発展途上の会報ですので、皆さまの御意見でよりよく、かつ親しみやすいものにしたいと思います。

さて、今回は夏の全国集会の講演を中心に編集しました。原稿が間に合わなかった方や、別に発表の予定があるということで寄稿を見合わせられた方もございますが、充実した研究発表の一端が伺えると思います。

なお、おかげさまで最近投稿がふえ、現在、短報もふくめて既に5編の原稿が次号のために届いています。このような状況にありますので、編集前に原稿をお届けいただいても翌号回しにせざるを得ない場合もございます。投稿を考えておられる方は早い目に原稿をお送りいただけると幸いです。編集作業も遅れないように進め、予定どおりに発行していきたいと思っています。

それではよいお年をお迎えください。

（角野）